



会仁会 ドキュメント The 舞台裏

第22回 当院の舞台裏を潜入レポートする
本企画。今回は特集記事にも登場
した医療療養病棟（A7病棟）に出向いて
そのリアルな現場をご紹介します。

当院A棟7階に位置する医療療養病棟（A7病棟）は、私のような心理職スタッフにとって、あまり足を踏み入れることがない「未知のエリア」だ。

なんと多くのイメージとしては、「さまざまな理由によって寝たきり状態で身体ケアも必要な高齢患者さんが、比較的長期にわたって入院されていて、最期の看取りまで見守ることが多い……のかな？」という認識だろうか。「さまざまな理由」という雲をつかむような表現も、一介の医療従事者である身としてはお恥ずかしい限りなのだが、脳出血の後遺症とか認知症の進行あたりだろうか。こんな曖昧な認識しか持っていない自分を何とかするため、実際の病棟にお邪魔させていただいた。

今回はA7病棟で副主任をつとめる看護師・酒井さんの案内で、病棟の実際のような様子を紹介したい。

A7ってどんな病棟??

「ここがどんな病棟なのか教えてください。」
「寝たきりの高齢患者さんが多いのは事実ですね。当病棟の基準として、自力で歩行できるレベルの患者さん（ADL区分①）が全の

2割以下である必要があるのですが、必然的にそうなるんです」

では8割の患者さんたちはこういった方々なのでしょう？

「脳出血や認知症以外にも、嚥下機能の低下などによって認知レベル・意識レベルが低下されているケースもあります。自力での食事が困難で介助が必要な方が大半ですし、痰の吸引や点滴など身体的な処置が必要な方も多いです」

看取りまでされることが多いのでしょうか……？

「最後までお看取りするケースもありますが、ある程度まで機能が改善されたら、他の施設やご自宅に退院していただくケースのほ方が多いですね」

機能が低下して寝たきりの高齢患者さんであっても、改善されることが多いとのこと。どういった治療や関わりをしているのか気になるけれど、ひとまず病棟を見学させてもらおう。

たいせつな空間、病棟ホール

酒井さんが最初に案内してくださったのは、詰所のある病棟ホールだ。

このホールはどのように活用されているんですか？

「談話スペースでもあり、レクリエーションや行事を行うスペースでもあります。車椅子の患者さんのために、イスのないテーブルが多いですね」



患者さんに人気のCDたち

ピアノが置いてありますけど、使うこともあるんですか？

「クリスマス会など季節の行事では、ピアノを弾けるスタッフが演奏します。クリスマスではハンドベルも一緒にやりましたね」

ほかにはどんなことをしているんですか？

「ここにCDがありますけれど、盆踊りなども盛り上がりますね。自力では立ったり歩いたりできない患者さんが大半なので、スタッフが浴衣を着て踊りを担当して、患者さんには太鼓を叩いてもらったりします」

「CDでは演歌が人気です。日頃は口数が少ない患者さんが、演歌が流れてくると一緒に口ずさんで元気になることもあります」

ホールでの工夫や気遣いなどがあれば教えてください。

「飾りつけには気を配っていて、各テーブルの上にはお花を飾っています。手入れや管理もあって花瓶に生花を活けるのは難しく、造花ではあるんですが、それでもとくに女性患者さん

は喜んでくださいますね」

ちよつとした飾りつけでも違うものなんですか？

「寝たきりの患者さんだと、ベッドで過ごしている時間は、ずっと天井しか見てらっしゃらないわけですね。それだけに、1日3回の食事のときだけでも、美しさや嬉しさといった機微を感じられるものに接していただくことはとても大切なんです」



各テーブルに置かれている花



季節を意識した飾り付け

お昼時になったので、昼食の光景を見学させていただきます。

ホールに出てこられる患者さんは意外と少ないんですね。

「食事を口から摂るのが困難な患者さんは、自室のベッド上で鼻腔チューブや胃ろう、あるいは抹消血管や中心静脈からの栄養注入になるんです」

食事には管理栄養士さんも訪れていた。日頃から入院患者さんの食事風景を伺っているそうで、たとえばメニューのゼリー食を変更したときに問題なく飲み込めておられるかを確認したりしているとのこと。

嚥下能力などさまざまな身体機能が低下した患者さんがおられるだけに、食事ひとつとっても細やかな気遣いが求められるのだらう。



管理栄養士さんも訪れて



ホールでのお食事を介助するスタッフ

なるほど、それだけ大きな意義があるんですね。
「なので季節感のある飾りつけも心がけています。今はちよつと桜の時期なのでこついった飾りつけですが、季節の移ろいに合わせて小まめに変わるよう心がけています」

お昼ごはんタイム